

事業所名		さくら江津				支援プログラム（参考様式）		作成日	2026 年	2 月	3 日
法人（事業所）理念		地域貢献活動を通じて、共存・共生の叶う福祉活動を行う。人としての尊厳を守り、敬意・感謝の心を培って行く。									
支援方針		事業所は、障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。									
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	来所時の健康観察、家庭・学校からの申し送りにより心身の把握を行う。手洗いうがいを習慣化し健康管理を定着させる。スケジュールや活動工程を視覚化して具体的に表示する。S S T 等により身体的、精神的、社会的訓練、マナーを学び、外出で実践し習得する。下校時、水遊び時の衣類着脱や持ち物の整理整頓。身だしなみを意識する。									
	運動・感覚	活動や遊びを通じて姿勢保持や運動・動作の向上と活用を目指す。（リズム遊び・ビジョントレーニング・サーキットトレーニング・外遊び・水遊びなど）									
	認知・行動	生活の中で必要な情報を認知し見通しを立てた行動が出来るようにする。（環境設定・個別での一週間スケジュール確認・日付、天気の把握や日記など）壁面製作や外出で季節の変化を認識する。小集団でのゲームや活動により適切に認知の偏りや特性を配慮する。									
	言語コミュニケーション	個々にあったコミュニケーション手段や能力を獲得する。（絵カード・発語を促す・文字の獲得・帰りの会での司会や発表など）個別、小集団での特性に応じた意思表示のスキル向上訓練。									
	人間関係社会性	余暇活動の過ごし方や集団活動への参加、遊びを通して他者とのかかわり方を学ぶ。（グループ活動・集団活動・ごっこ遊び・買い物体験・職場体験など）									
家族支援		困りごと悩み事があればいつでも相談できるよう体制を整えており、本児の様子や家族との関りの中で自宅でも出来る支援方法や対処法などの相談援助を行います。保護者会やマルシェの開催で保護者同士のつながりの場を設けています。				移行支援		学校や併用事業所、相談事業所等と本人の現状と必要な支援等を共有し、生活環境をより良いものにしていきます。			
地域支援・地域連携		図書館などの公共施設や公園、公共交通機関を使った活動などを通して地域社会に適応出来るようにしています。マルシェ開催をして地域の方々とのふれあひも支援しています。				職員の質の向上		虐待防止、身体拘束などの法定研修に加え、外部研修にも積極的に参加し職員間でアウトプットしていくことで事業所全体の質の向上に努めています。			
主な行事等		季節行事に合わせた製作や活動、避難訓練（火災・地震・水害）、熊放運動会、施設見学、調理実習、カヌー、自転車練習をしてサイクリング。									